

朝来市

こども育成プラン

朝来市次世代育成支援地域行動計画（後期計画）

◆ 概要版 ◆



教育・郷育・共育による
心豊かな「朝来っ子」づくり

子どもの笑顔があふれ 心ふれあう安心子育てのまち

平成22年3月
朝来市

朝来市こども育成プランについて

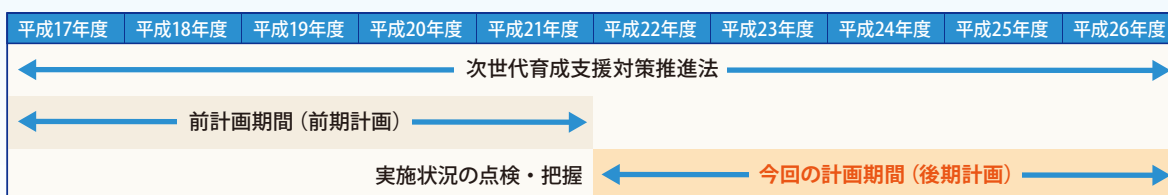
少子化が進む今日、市民が安心して子どもを生み育て、明日の朝来市を創る子どもたちが健やかに育つための「次世代育成支援」は、市政における最重要課題の一つです。

全国的に少子高齢化の傾向が顕著になり、本市においても子どもの数は今後とも減少傾向が続くものと予測されています。このような状況に対して本市では、合併前の旧4町（生野町・和田山町・山東町・朝来町）が合同で策定した前期の次世代育成支援地域行動計画に基づいて、子どもに関わる施策の推進、充実に努めてきましたが、このたび前期計画が終期を迎えるにあたり、新たに後期計画を策定しました。



朝来市次世代育成支援地域行動計画（朝来市こども育成プラン）は、これまでの取り組み状況や社会経済情勢、市民ニーズなどの変化を踏まえつつ、次代を担う子どもたちの育成支援に関する施策を体系的に盛り込んだ「次世代育成支援対策推進法」に基づく後期行動計画として策定するもので、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間としています。

次世代育成支援地域行動計画の計画期間



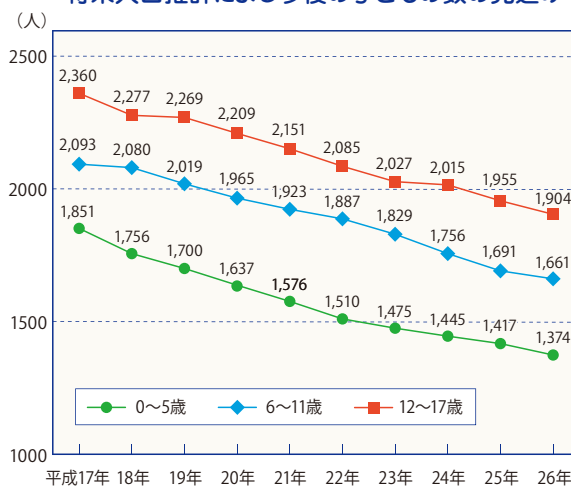
少子・高齢化、人口減少が進んでいます

朝来市の人口は、緩やかな減少傾向が続いています。年齢別人口構成では、15歳未満の年少者の割合が13.2%（平成21年3月末現在）であるのに対し、65歳以上の高齢者の割合は29.1%（同）に達し、少子高齢化が進行しています。

市内では1年間におおむね250人前後の子どもが生まれていますが、長期的に見ると出生数が徐々に減少する傾向にあります。

また、計画の策定にあたって実施した将来人口推計の結果でも、子どもの数は今後とも減少傾向が続くものと見込まれています。

将来人口推計による今後の子どもの数の見込み



※こども育成課推計（住民基本台帳人口ベース）

子育てに喜びを感じつつ、 不安や負担を感じている人もみられます

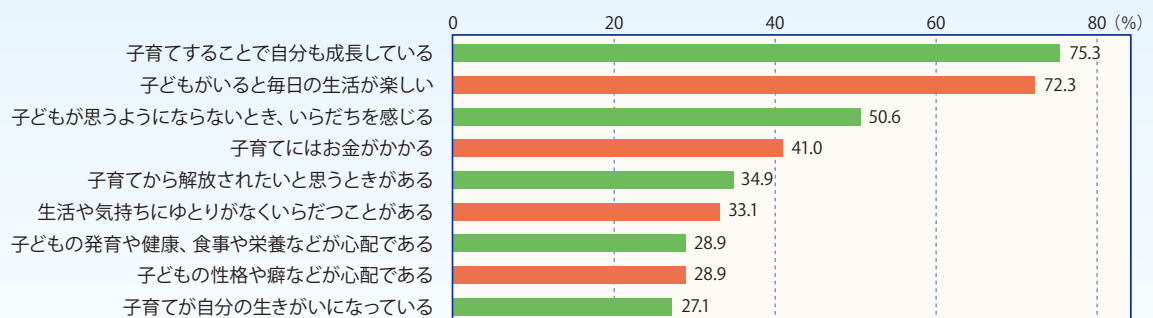
保育等のニーズ調査によると、朝来市では就労している母親の割合が就学前児童調査で約6割、就学児童調査で約7割と高く、また多くの家庭が子どもの日常的な預け先として祖父母に頼っている様子が見られます。

子育て学習センター利用者の子育てに関する意識では、子育てすることで自分も成長している、子どもがいると毎日の生活が楽しいという保護者が7割以上を占める一方、子どもが思うようにならないときにいらだちを感じるという保護者も半数を占めています。

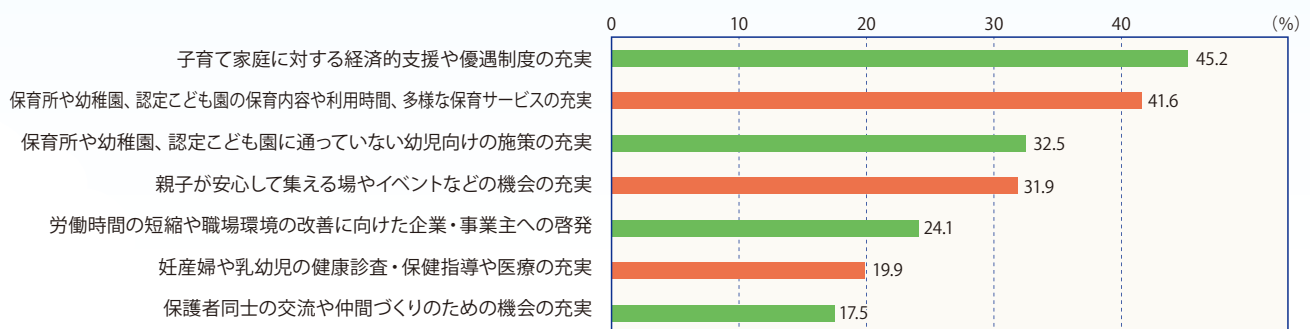
また、子育てにはお金がかかる、子育てから解放されたい、生活や気持ちにゆとりがないなど、子育てに関する不安や負担を感じるという保護者もみられます。

今後の子育て支援施策に関しては、経済的支援や優遇制度の充実を求める保護者が最も多く、これに次いで多様な保育サービス、保育所等に通っていない幼児向けの施策、親子が安心して集える場やイベントなどの機会に対する関心が高くなっています。

子育てをするうえで感じること(複数回答)



今後必要な子育て支援施策(複数回答)



子育て学習センター利用者の皆さんからの意見

- 子育て支援施策にもっと力を入れてほしい
- 都会と違うサービスの提供がよい
- 在宅の親子へのサービスが少ない
- 安心して子どもを預けられる、お世話になっている
- 子育て学習センターに通うのが楽しみだ
- どんな制度・サービスがあるのか教えてほしい
- 子どものしつけ方など育児方法に悩んでいる
- 近くに同年代の子どもがおらず、孤立しがちだ
- 高齢者など地域の人とのふれあいがあればよい
- 家事や子育てと仕事の両立が難しい
- 経済的な支援の充実をお願いしたい
- 公園や遊び場が少ない、管理が行き届いていない
- 地域全体で子どもを見守るような体制づくりをなど

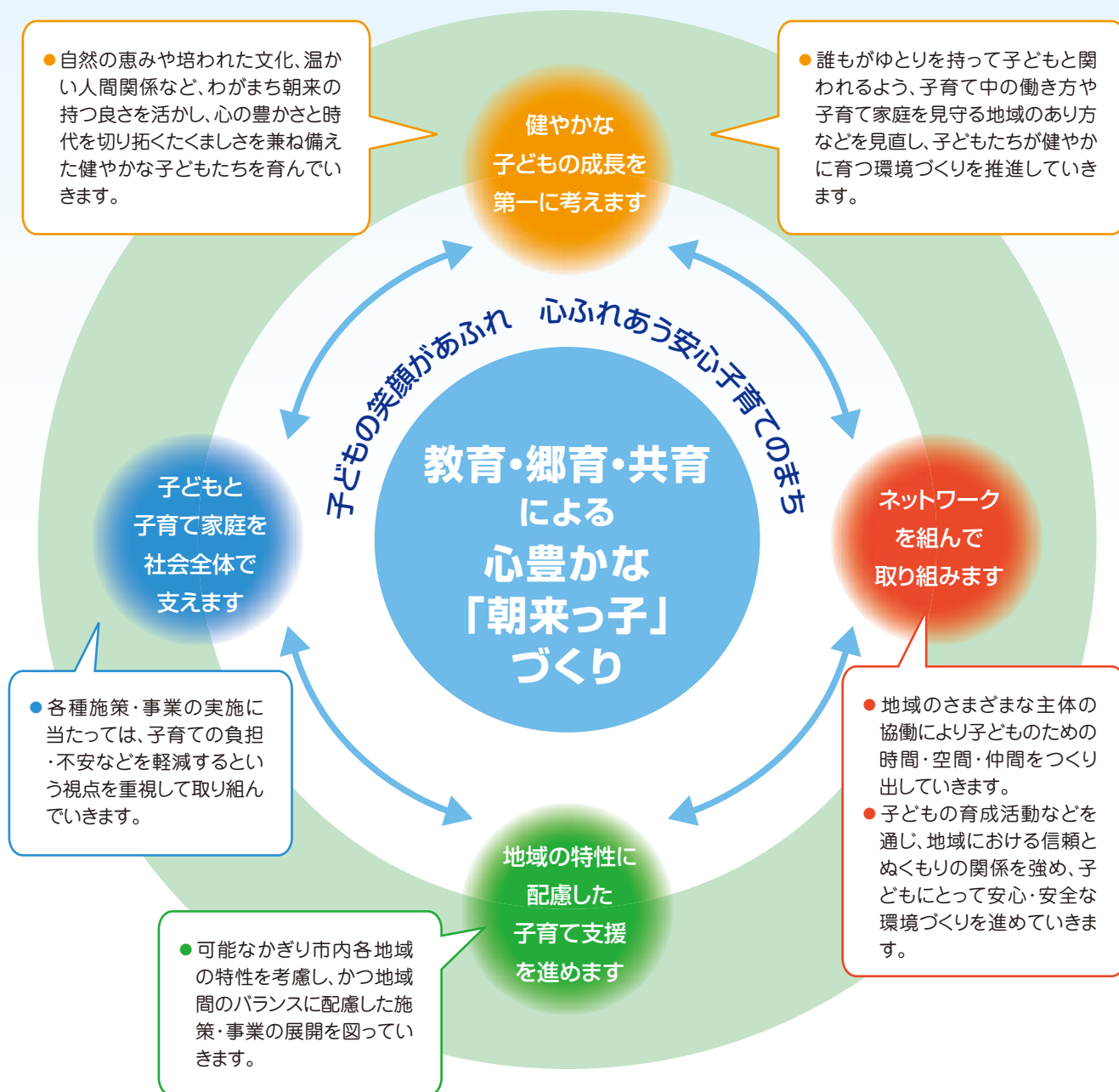
計画の基本的な考え方

次世代育成に当たっては、まず保護者が「親としての自覚」を持ち、愛情を持って子育てを行うことが何よりも大切ですが、それとともに、地域や学校、保育園、事業者、行政などが一体となって「子育て」「子育て」の支援に取り組み、子どもたちの笑顔をみんなで喜びあえるような社会にしていく必要があります。

この計画では以下に示す考え方に基づき、次世代育成支援施策の推進に努めていきます。



計画の基本理念と4つの視点



計画の基本目標と主な施策

子どもたちの生きる力と豊かな心の育成

- 次代を担う子どもたちが、その成長とともに豊かな人間性を形成し、健やかな身体と確かな学力を育ていけるよう、乳幼児期から青少年期に至るまでの長期的な視点で教育環境の充実に努めます。

主な取り組み

- 地域に開かれた信頼される学校づくり
- 確かな学力、豊かな心、健やかな身体の育成
- 幼児教育・保育の充実
- 地域における子どもの居場所づくり
- 青少年育成活動の推進 など

次代の親づくり

- 次代の親を育成する観点から、子どもの自立を支援していきます。
- 男女がともに力を合わせて家庭を築き、子どもを生み育てることの意義、子どもや家庭の大切さについて市民全体の理解を深める取り組みを推進します。

主な取り組み

- 命の大切さや子育ての意義等を学ぶ教育の推進
- 子ども・若者育成支援対策の推進
- 子育て支援に向けた意識啓発、支援活動の推進

母と子の健康を支える環境づくり

- 親の育児に対する不安を軽減し、のびのびと安心して子育てを楽しみ、子どもに愛情が注げるよう、母子保健事業をはじめ子育て家庭、次代を担う子どもたちを対象とした保健事業の充実に努めます。

主な取り組み

- 健診や相談など、母子保健事業の実施・充実
- 思春期保健事業の実施
- 食育の推進
- 心の悩みに対する相談支援体制の充実
- 小児医療体制の充実 など

すべての家庭の子育ての支援

- 保護者の多様なニーズを踏まえ、子育てに関する不安や負担感の軽減に向けた保育サービス、子育て支援施策の充実に努めます。
- 事業所や関係機関・団体との連携を図りながら、子育てと仕事が両立しやすい環境づくりに取り組みます。

主な取り組み

- 子育て支援拠点づくり
- 子育てに関する情報提供や相談支援、仲間づくり
- 保育事業の充実、認定こども園化の推進
- 経済的支援制度の実施・充実
- 児童虐待防止など要保護児童対策の推進
- 障害のある子どもたちへのきめ細かい支援
- 子育てがしやすい職場環境づくり など



子どもと子育て家庭にやさしい環境づくり

- 子どもや子育て中の家庭が、地域で安心して快適に暮らせるよう生活環境の整備・改善に努めます。
- 子どもを交通事故や犯罪等の被害から守るための活動を進めます。

主な取り組み

- 福祉のまちづくりの推進
- 子ども連れの利用に配慮した施設整備
- 交通安全対策の充実
- 子どもを見守る活動の推進
- 学校等での安全教育、安全確保対策の充実 など

家庭や地域の皆さん、ご協力をお願いします!

次世代育成支援については、行政のみならず、それぞれの家庭や「子育て」に関わる取り組みを行う市民団体、地域社会、学校・幼稚園・保育所(園)・認定こども園、社会福祉協議会、民生・児童委員、NPO、ボランティア、事業者など多くの皆さんの協力により進めていく必要があります。

以下にあげる役割は、家庭や地域、学校・保育園、事業者の方をお願いしたい内容を一例としてまとめたものです。「教育・郷育・共育による心豊かな朝来っ子づくり」をともに進めていくため、皆さんのご理解と積極的な取り組みをお願いいたします。

役割の担い手

期待される役割

家庭

(親・保護者)

- 家庭を大切に、保護者が協力しあって子育てに取り組むこと。
- 男女の役割分担に対する意識を見直し、父親も積極的に子育てに参加すること。
- 子どもに愛情を持ち、親子のふれあいを大切にすること。
- 子どもに基本的な生活習慣や社会的マナーなどを身に付けさせること。また、大人がまず率先して子どもの模範となること。
- 子どもの自制心や自立心、他の人びととの協調性を育むこと。
- 地域の人や他の子育て家庭との交流など、親同士・子ども同士のふれあいを深めること。
- 自然の中で、親子での体験活動や文化・芸術とのふれあい、スポーツ・体力づくりなどに取り組み、子どもの豊かでたくましい心を育むこと。
- 子育ての悩みを一人で抱え込まず、子育て仲間や相談機関などに気軽に相談すること。
- 子育てにストレスを感じたときは、積極的に心身のリフレッシュを心がけること。

子ども・子育て 家庭を取り巻く 地域の人びと

- 世代間交流をはじめ、地域の子どもと大人の関わりを深めること。
- 子どもが参加できる社会体験や自然体験など魅力ある行事や活動の場をつくること。
- 地域全体で子育てを支援し、子どもの健やかな成長を温かく見守ること。
- 地域全体が青少年の育成に関心を持ち、環境浄化活動やあいさつ運動などを進めること。
- 子どもを事故や犯罪から守るため、住民が協力しあって取り組むこと。
- 子どもや子育て家庭が地域と関わる機会や場所づくりに取り組むこと。

事業者

(企業・団体)

- 子育てと仕事の両立ができるよう、子育てをしやすい職場環境づくりを進めること(育児休業制度の定着や労働時間の短縮、多様な働き方の導入など)。
- 子どもたちの職場見学・体験を積極的に受け入れること。
- 店舗・施設や交通機関などが、小さな子どもを連れていても安心して利用できるよう配慮に努めること。
- 地域の一員として、社会全体で子どもを育てる活動に関心を持ち、協力すること。

学校・幼稚園・ 保育所(園)・ 認定こども園 など

- 確かな学力、豊かな人間性、心身のたくましさなど、子どもの個性を尊重しながら「生きる力」を育む教育を推進すること。
- 地域に開かれた施設として、子育て家庭や地域社会等との結びつきを強めていくこと。
- 男女が協力し、共に家庭生活を築き、子育てを行うことの意義や大切さを伝えること。

朝来市こども育成プラン

朝来市次世代育成支援地域行動計画(後期計画) ◆ 概要版 ◆

編集・発行 / 朝来市教育委員会事務局 こども育成課
〒679-3431 兵庫県朝来市新井73-1 朝来市役所 朝来庁舎
電話: 079-677-1165



この印刷物は、環境にやさしい再生紙に
植物性大豆油インキで印刷しています。